



2015年6月17日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 多田 正世  
(コード:4506 東証第1部)  
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部 渡辺 晶子  
(大阪:TEL. 06-6203-1407)  
(東京:TEL. 03-5159-3300)

JCR ファーマと大日本住友製薬の BBB 通過技術を用いた  
脳神経領域におけるフィージビリティスタディ契約の締結のお知らせ

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、社長:多田 正世)は、本日、脳神経領域におけるフィージビリティスタディ契約締結について、別添資料のとおりプレスリリースをいたしましたので、お知らせします。

以上



2015年6月17日

各位

JCR ファーマ株式会社  
大日本住友製薬株式会社

## JCR ファーマと大日本住友製薬の BBB 通過技術を用いた 脳神経領域におけるフィージビリティスタディ契約の締結のお知らせ

JCR ファーマ株式会社(本社:兵庫県芦屋市、社長:芦田 信、以下、「JCR ファーマ」と大日本住友製薬株式会社(本社:大阪府大阪市、社長:多田 正世、以下、「大日本住友製薬」)は、JCR ファーマが保有する血液脳関門(Blood-Brain Barrier:BBB)通過に関する技術「J-Brain Cargo」の脳神経系治療薬創製への適用可能性を検討することを目的として、2015年6月17日、フィージビリティスタディ契約を締結しましたので、お知らせします。

今回の契約で両社は、J-Brain Cargo と大日本住友製薬が選択する特定の医薬品候補物質を用いて研究協力を行い、アンメット・メディカル・ニーズの高い脳神経領域において、革新的な治療薬を創製できることを期待しています。

J-Brain Cargo は、脳毛細血管の内皮細胞表面に発現している、あるレセプターを介して目的とする物質の血液脳関門通過を実現する技術であり、JCR ファーマが実施した実験では通常の 20~100 倍の効率で血液脳関門を通過させることができました。

当該技術は、対象となる高分子から低分子までの薬剤に血液脳関門通過能を付与できる画期的な技術であり、静脈内投与で十分量の薬剤が脳内に到達して薬効を発揮するため、これまで改善が期待できなかった脳神経症状を伴う病態に対し、大きな改善効果が期待されます。

なお、本契約の締結による両社の 2016 年 3 月期の連結業績への影響は軽微です。

以上

(ご参考)

### 【JCR ファーマについて】

JCR ファーマは、「医薬品を通して人々の健康に貢献する」という企業理念のもとで、時代を先取りした再生医療、遺伝子組換え技術による医薬品の研究開発・製造・販売を行う企業として、人々の健康と医療の未来に貢献することを目指しています。

### 【大日本住友製薬について】

大日本住友製薬は、アンメット・メディカル・ニーズの高い精神神経領域およびがん領域を研究重点領域とし、革新的な医薬品の創製を目指しています。さらに、治療薬のない疾患分野や再生・細胞医療といった新規分野への研究開発活動に取り組んでいます。

○本件に関するお問い合わせ先

JCR ファーマ株式会社 経営戦略部 TEL 0797-32-8591

大日本住友製薬株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

(大阪) TEL 06-6203-1407 / (東京) TEL 03-5159-3300